

第37回 国内洋上研修のご案内

2018

北海道航路

考動と創造の船

改善活動を活性化し、現場力を高める強いリーダーを創る!!

スローガン
豊かな創造性 活力ある職場づくり

名古屋港 ⇄ 苫小牧港

H30
11 / 6
TUE

H30
11 / 10
SAT



仕事の価値を創造する
新しい友情を築く

100時間の感動の航路!!

'05年～'10年
「フェリー・オブ・ザ・イヤー」
6年連続受賞

- 使用船のごあんない —
日本最大級の豪華フェリー “きそ”
- 総トン数 … 15,795t
(客船換算 約 32,000 t)
 - 全 長 … 199.9m
 - 幅 … 27m
 - 最大速力 … 26.73 ノット
 - フィンスタビライザー (横ゆれ防止装置)

11月6日(火)
名古屋港を出港!

主 催 / 一般社団法人 日本経営協会
後 援 / 名古屋商工会議所・中日新聞社
旅行運営 / 太平洋フェリー株式会社

「2018(第37回)考動と創造の船」 開催にあたって

時間の過ぎるのは早いもので、今年も洋上研修「考動と創造の船」(北海道航路)のご案内を申し上げる時期になりました。

さて、今年は2月9日から2月25日までの17日間、平昌オリンピックが開催され、どの種目についても手に汗を握り観戦いたしました。なかでも「女子カーリング」と「女子チームパシュート」には特に強い感動を覚えました。「女子カーリング」は初の銅メダルを、「女子チームパシュート」は金メダルを獲得するという偉業を達成されたのであります。この両種目に強い感動を覚えたのは、両種目とも選手全員が、それぞれ強い向上心を持ち、自己の最高の技量を絶え間ない練習と努力で身につけ、チームワークのもとに各選手の力を単純にプラスしただけではなく、各選手の相乗的な強力な力として発揮され偉業を達成されたことでもあります。まさにこれは、職場での仕事にも言えることであり、働く一人一人が確固とした勤労観、職業観のもとに自己研鑽、相互研鑽を行い仕事に関する知識や技術・技能を身につけ、これを職場のチームワークの下、組織力として労働生産性を改善していくことが大切であります。

これらの人材育成とチームワークとしての組織力の発揮について、参加者の皆さんとアドバイザーが一体になってアクティブラーニングの精神で学んでいただくことを目指して、「2018(第37回)考動と創造の船」(北海道航路)を企画いたしました。

今年の「考動と創造の船」は、11月6日(火)から10日(土)までの日程で実施致します。昨年は使用船の太平洋フェリー「きそ」の運航日程の都合により、水曜日から日曜日までの異例の日程で実施せざるをえず、大変なご迷惑をおかけいたしました。本年は例年通り火曜日から土曜日の4泊5日の日程で開催する運びとなりました。なお、使用船「きそ」は最新鋭船であり、船内空間の快適さはこれまでに実証済みであります。従いまして、参加されました皆様に船上生活をエンジョイしていただけるものと確信いたしております。

コース別研修

昨年参加された皆様からの具体的な声としての評価や洋上研修全体に関する総合評価は、前年度を更に上回り過去最高の評価をいただきました。また、コース別研修につきましても極めて高い評価をいただきました。このような評価と、参加者をご派遣いただいている多くの企業・団体様から、「内容に問題のあるコースなら見直しも必要だが、前年の研修コースを参考にして派遣者を決めるので、研修コース変更は極力少なくして欲しい」というご要望も勘案しまして、本年は昨年同様の①「KAIZEN実践者コース」、②「KAIZEN推進リーダーコース」、③「発想・改善アイデア・トレーニングコース」、④「良好な(職場)人間関係を創るコミュニケーション力向上コース」、⑤「創造型職場づくりコース」の5研修コースを用意いたしました。

もちろん昨年の評価が高かった5研修コースであっても、これにおごることなく内容について更なる精査を加えるとともに研修方法の改善を進め、より高い目標達成のためアドバイザー一同一丸となって邁進する所存でございます。毎年、一歩でも二歩でも、より進化していくよう努めることが絶対的に必要なことと団長として強く認識いたしております。

傾聴の広場

今年はゲストとして、元ラグビー日本代表、パフォーマンス・コンサルタントの今泉清さんをお迎えいたします。小学校1年生からラグビーを始められ、その後、ラグーマンとして多くの大会で活躍された経験に基づいて、熱く自己の資質や力量の向上の在り方、チーム力の発揮の在り方を語っていただけるものと思います。参加される皆様は、講演を拝聴されることにより大きな示唆を得られることと確信いたしております。

その他

「コース別研修」や「傾聴の広場」の他に、船上での生活班のメンバーの交流を深め、チームワークの重要性を実践的に体得していただく「創作グランプリ」をはじめ多くのイベントを用意しております。つまり、洋上研修は参加者同士の交流や懇親、情報交換など、ゆとり時間の充実も大切と考え、楽しい洋上の旅を過ごしていただけますように種々の方策を考えております。

以上のような理念と目標のもと、ご参加いただきました皆様、ご派遣いただきました企業・団体様に心よりご満足いただけますよう努めてまいります。是非お一人でも多くの方のご参加、ご派遣を心よりお願いを申し上げ、ご案内とさせていただきます。

平成30年4月吉日

団長 愛知教育大学 名誉教授 日本経営協会 参与 竹内 登規夫

2018 考動と創造の船の特色

コース 編 成

職場の活性化・職場改善力・アイデア発想力・やる気醸成・ストレス耐性などの向上を目指した5つの研修コースから1つを受講。それぞれのコースで、最新の知識と情報を提供いたします。

指導陣

企業の第一線での指導経験豊富な実力講師および実務家をアドバイザーに招へいし、ゲストには異色の著名講師を迎え充実した講師陣になっております。

プログラム

研修テーマごとのコース別研修・他社交流(異業種情報交換)・斯界一流講師の講演・小集団(班毎)による各種船内行事・北海道観光など多彩なプログラムを用意。特に他社交流には最大限の配慮をしています。

傾聴の広場・講師

傾聴の広場Ⅰ〈団長〉

愛知教育大学 名誉教授・日本経営協会 参与

たけうち と き お
竹内 登規夫 「私の人生と職業人に
期待すること」



1944年生まれ。1967年愛知教育大学卒。
1970年立教大学大学院修士課程修了。
1972年愛知教育大学助手となり、助教授を経て、
1988年から同大学教授。
大学で教鞭をとるかたわらカウンセリングの専門家として民間企業の指導等、多方面で活躍。

傾聴の広場Ⅱ〈特別ゲスト〉

元ラグビー日本代表、パフォーマンス・コンサルタント

いまいずみ きよし
今泉 清さん 「ポジティブ思考が
良き未来を創る」




1967年東京都生まれ。小学校1年生からラグビーを始める。フランカーとして高校日本代表に選ばれる。早稲田大学人間科学部に進学し、大学選手権、日本選手権優勝を経験。ニュージーランドへラグビー留学後、サントリーに入社。1995年ラグビーワールドカップ南アフリカ大会出場、全国社会人大会・日本選手権優勝を経験。現役引退後、早稲田大学ラグビー部コーチ・サントリーフーズプレイングコーチに就任。早稲田大学ラグビー部を大学日本一に3回、大学選手権準優勝2回に導く。サントリーフーズラグビー部を2001～2007年の間に4部→3部→2部→1部までの昇格に大きく貢献。早稲田大学大学院公共経営研究科を卒業し、現在は、ラグビーから学んだチームビルディング・マネージメント・リーダーシップを活かした実学をもとにしたパフォーマンス・コンサルタントとして活動している。研修・講演・企業の顧問として、全国を舞台に活動する傍ら、CSテレビチャンネル J-Sports でラグビー解説者を、日刊スポーツではラグビー評論家も務めている。

研修コース内容

※主要研修項目は、参加者のニーズ等によって変更となる場合もありますので予めご了承ください。

KAIZEN実践者コース ～モチベーションの向上を目指して～

日本ガイシ株式会社
品質統括部 マネージャー



アドバイザー
かわくち
川口 定

参加者の交流・相互啓発を中心としたプログラム構成により、参加者自らが考動し、知恵と情報を交換する研修項目を随所に設け、改善実践者に求められるスキルとモチベーション向上をねらいとしています。

主要研修項目

- ・グループ交流（私の改善自慢紹介ほか）
- ・「KAIZENの基本」（再確認）
- ・船内散策による「KAIZEN」発見
散策→発見→グループディスカッション→情報共有 ほか

参加対象

- ・職場の改善活動（提案・QC活動）を実践している方

KAIZEN推進リーダーコース

アイシン精機株式会社
生産人材育成部 技能伝承グループ
グループマネージャー



アドバイザー
はやしかお
早川 典利

参加者の交流・相互啓発を中心としたプログラム構成により、参加者自らが考動し、知恵と情報を交換する研修項目を随所に設け、リーダーに求められる職場の改善活動活性化のポイントを学びます。

主要研修項目


- ・グループ交流（会社の制度紹介ほか）
- ・「KAIZENの基本」とリーダーの役割
- ・改善活動活性化のポイント
～わが社ではこうしている～
- ・課題解決のための情報交流 ほか

参加対象

- ・職場の改善活動（提案・QC活動）を支援するリーダーの方
- ・職場の改善活動の事務局推進者の方

発想・改善アイデア・トレーニングコース

知的財産・発明事業化アドバイザー
発明達人塾・アイデアクリニック
代表



アドバイザー
しもむら
下村 正

小グループ制による改善案のブレインストーミングを通じ、問題点の発見からアイデアの発想、プレゼンテーションまでの実習を行い、日常生活や職場での改善能力の向上を図ります。

主要研修項目


- ・アイデア発想法を高めるポイント
- ・船内散策による具体的アイデア発想法体験
- ・全員参加のグループ発想法
- ・アイデア発想のステップ

参加対象

- ・すべての職場で働く方

良好な（職場）人間関係を創るコミュニケーション力向上コース

一般社団法人 日本経営協会
専任講師



アドバイザー
はやし
林 計子

「経営環境の変化」や「労働の質の変化」が進むと同時に、多様性が重要視される今、職場で良好な人間関係を構築することは、非常に重要かつ困難になってきています。本コースでは、主体的に「職場における良好な人間関係を創るための勘所」を実習やワーク、そして参加者同士の情報交換もふんだんに交え、学びや気づきを得ていただきます。

主要研修項目


- ・職場の人間関係における課題・問題の抽出
- ・良好な人間関係を創るための基本
- ・自分のコミュニケーションスタイルを知る
- ・様々なケースにどのように対応するか（ワーク・情報交換）
- ・自分のコミュニケーションスキルをアップする（実習） ほか

参加対象

- ・良好な職場の人間関係を構築したい方
 - ・コミュニケーション能力を向上させたい方
- ※役職の有無、年齢・キャリア等に関係なくご参加いただけます。

部下のやる気向上とストレス低減を実践する創造型職場づくりコース

考動と創造の船団長
愛知教育大学 名誉教授



アドバイザー
たけうちとさお
竹内登規夫

多様化が進む昨今、職場リーダーに求められる大きな要素の一つに、「創造型職場づくり」の実践が求められています。前例踏襲には限界があり、継続的に新たな価値創造を実践しなければ、パフォーマンス向上を実現することができないことは言うまでもありません。そこで、本コースでは「創造型職場づくり」の鍵となる「やる気向上」と「ストレス低減」実践法について習得を目指します。

主要研修項目

- ・職場ストレス・パフォーマンスを基にした「創造型」組織とは（講義・演習）
- ・「創造型」職場づくりのためのリーダーシップとは（リーダーとしての自己理解を含む）（講義・演習）
- ・「創造型」人間の育成（講義・演習）
- ・「職場ストレス」を軽減する職場づくり（講義・演習）
- ・「職場パフォーマンス」を高める職場づくり（講義・演習）

参加対象

- ・職場リーダーの方
- ・職場内メンターの方
- ・管理監督者の方

『現場力向上と人材力向上』のヒントを学ぶ体感の『場』!!

タイムスケジュール

実践に活かせるスキルの提供と
参加者の情報交流を中心とした密度の高いスケジュール

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1日 11/6 (火)	名古屋臨海高速鉄道あおなみ線「野跡駅」出発 (無料バス運行)																
	名古屋港フェリーターミナルにて受付																
2日 11/7 (水)	名古屋港フェリーターミナルにて受付																
	船 上																
3日 11/8 (木)	名古屋港フェリーターミナルにて受付																
	船 上																
4日 11/9 (金)	名古屋港フェリーターミナルにて受付																
	船 上																
5日 11/10 (土)	名古屋港フェリーターミナルにて受付																
	船 上																

(注) コース別研修は他企業の方との情報交換、交流を中心に進めていきます。諸般の事情によりプログラムを変更する場合があります。

前年度

洋上研修レポート

参加者の声

- ①研修で印象に残ったこと
- ②研修で学んだこと
- ③職場で活かしていきたいこと

“100時間の人間ドラマ”一生の思い出となる洋上研修

T社 Mさん

- ① 初めて会ったメンバーでも1つの目標・目的に向かってしっかりコミュニケーションを取る事で、たくさんの改善案が出て、前向きに取り組む事ができ、とても良い経験でした。
- ② 固定観念に捉われず、問題を細かく観察、分解する事で問題が明確になり、改善すべき点が分かりやすくなる。コミュニケーションをしっかり取り雰囲気の良いと、改善時 तक さんの意見が出るとう実感した。
- ③ 改善活動を活発に進めるための土台である「チームワーク、コミュニケーション」を大切に、前向きに改善活動を進めていける職場づくりを率先して行っています。

N社 Kさん

- ① 他社の知らない方々と衣食住を共にする事で他の研修ではない新鮮さと交流の大切さ等を学べたことです。
- ② 交流の大切さ。バイタリティあふれる方が多く、刺激をもらいました。視野を広げて多くの経験を得られました。
- ③ 社内でも積極的に他部署の方や、係の違う方と交流し自分の視野を広げて、現状に満足しない様にしたいです。

C社 Hさん

- ① 他企業の改善に対する取り組み方を聞き、自社と違い活発に取り組んでいるのが印象に残りました。
- ② 改善にはまず5Sが重要であるということ、また他企業の方との交流で自分自身の視野が広がりました。
- ③ 今までと違った視点で業務内容を見て、改善ポイントを見つけ、仲間と改善を実行します。

A社 Sさん

- ① 竹内団長の教育を受け受講者全員との仲を築け、いろんな方との話ができました。
- ② この研修で私が持って帰る一言は「仕事は楽しく」です。同じ仕事なら楽しくやれと竹内団長がおっしゃって、自分の中で特に心にひびきました。
- ③ グループワークの中で自分の悩みを聞いてもらい、上司や作業者に説得する時は、事前に返される言葉を考えてからとアドバイスを受けました。とても参考になったので、これから生かしていきたいです。

T社 Wさん

- ① イメージキャラクター制作時の生活班メンバーの集中力。また、自発的に制作に関わり協力し合えたことです。
- ② 初対面同士でも、仲間となりチームで協力できる、ということです。
- ③ 目的をメンバーと共有し、時間(期限)と目標を明確にし、メンバー全員の集中力・モチベーションを高めます。

A社 Kさん

- ① 「洋上」の研修と言うのが一番刺激を受けました。普通では体験しない海の上での交流や研修、傾聴が印象的です。
- ② メンタル的な自分の分析・考え方と交流による相手の考え方・行動を知るのに勉強になりました。
- ③ 今回の研修で学べた、自分を分析し、相手の内面も分析して、仕事を円滑に出来るようにしていきたいです。



〈団長講演〉



〈団長・アドバイザー〉



〈コース別研修〉



〈北海道観光〉



〈旅立ちパーティ・表彰〉



〈指導陣との最後の別れ〉

参加要項

「2018 考勤と創造の船」へのお申し込みは別紙申込書にてお願いいたします。

- 期 間：平成30年11月6日(火)～11月10日(土)〈船中泊4泊5日〉
※11月6日(火)19時00分名古屋港出港、11月10日(土)10時30分名古屋港帰港(予定)
- 受付場所・時間：名古屋港・太平洋フェリーターミナル1F(名古屋市港区空見町40)
〈受付時間〉11月6日(火)14時30分～15時30分
※受付場所へは名古屋臨海高速鉄道・おのなみ線^{のせき}「野跡駅」から市バスの無料運行をいたします。
(所要時間約5分、詳細は後日ご派遣責任者の方へご案内いたします。)
- 航路と使用船：名古屋港 ⇄ 北海道(苫小牧港)
豪華船“きそ”15,795t(太平洋フェリー所属)
- コース別研修：5つの研修コースから選択できます。
- 北海道観光：登別温泉コース(登別温泉内のホテルでの入浴、地獄谷)
- 対象：改善提案活動及びQC活動の推進者(事務局含む)の方／優秀提案者、QCサークルリーダーの方／
文部科学大臣 表彰の「創意工夫功労者」の方／経営の効率化、活性化に問題意識をお持ちのマネージャー・
リーダーの方／TQM等の活動推進関係者／営業・サービスの分野の第一線で活躍の方／民間企業以外
の諸団体(地方自治体・病院等)の職員の方
- 定 員：120名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費

区分 参加人数	日本経営協会会員 改善・提案研究会会員		一 般		
		参加費	消費税	参加費	消費税
1社(団体)からの参加人数	1～4名	145,000円	11,600円	165,000円	13,200円
		合 計 156,600円		合 計 178,200円	
	5～9名	137,000円	10,960円	158,000円	12,640円
		合 計 147,960円		合 計 170,640円	
10～19名	132,000円	10,560円	153,000円	12,240円	
	合 計 142,560円		合 計 165,240円		
20名以上	126,000円	10,080円	147,000円	11,760円	
	合 計 136,080円		合 計 158,760円		

参加費に含まれる費用

- ・名古屋港 ⇄ 北海道(苫小牧港)間航送料
- ・期間中の食事代
- ・研修にかかわるテキスト・資料代
- ・損害保険料

旅行主催者は、参加者ご自身と身の回り品の損害が次の原因により生じた場合は、責任を負いかねますのでご了承下さい。

- ① 天災地変、戦乱、暴動、ストライキ、陸海空における不慮の火災、交通事故
- ② 運輸宿泊機関等の事故、火災等に基づき生じたスケジュール、経路の変更
- ③ 盗難、詐欺、暴行、疫病、障害
- ④ 自由行動中の事故。その他損害賠償免責事項、責任、ご参加条件につきましては、国土交通省認可による旅行主催者の「旅行約款」に従わせていただきます。

- ・北海道観光費用(各自のおみやげ代除く)
- ・報告書代

- 申込方法：別紙申込書の所要事項をご記入の上、下記へ郵送又はFAXでお申込みください。
 - 参加要領、参加券、振込銀行・口座名を記載した請求書をご派遣責任者にお送りいたします。(お送りする時期は8月中旬以降となります。)
 - 領収書は「振込金受取書」をもって代えさせていただきますのでご了承ください。
 - 参加料は原則として開催日15日前までに銀行振込でお願いいたします。参加料支払いが遅れる場合は、支払予定日、支払方法をご記入のうえ申込書のみ前もってご送付ください。
 - 電話のお申込みも受け付けます。(この場合でもあとから申込書をご送付ください。)

キャンセルについて

開催日30日～8日前迄は参加料の30%、7日前～前日迄50%、当日は参加料の70%をキャンセル料として申し受けます。

本洋上研修は、運営において参加者各位の氏名、勤務先名、所属・役職名、住所(主に勤務先)を記載した参加者名簿を本洋上研修の参加者全員に配布することが必要ですので、このことをご同意の上お申込みください。

- 申込締切日：9月25日(火) 但し定員になり次第締め切らせていただきますので人数のみ早めにご予約ください。

お問合せ
お申込み先

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 洋上研修推進事務局

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10階

TEL (052) 957-4172 (ダイヤルイン) FAX (052) 952-7418

ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※お電話でのお問い合わせは平日9:15～17:15にお願いいたします。

2018

第37回

T・ACTION & CREATION



一般社団法人日本経営協会（略称NOMA）のご案内

一般社団法人日本経営協会(略称NOMA)は、昭和24年(1949年)に「日本事務能率協会」として設立。同年に通商産業省(現・経済産業省)から社団法人として公益法人認可を受け、昭和46年(1971年)に「日本経営協会」に名称変更しました。その後、公益法人法制の改正に基づいて平成23年(2011年)4月に国の認可を受けて一般社団法人へ移行いたしました。現在、多数の民間法人・官公庁・病院等の諸団体が会員に加入しており、全国的サービス網でわが国企業・諸団体(官公庁・病院等諸団体)の経営効率化と人材育成のために寄与いたしております。

主な役員陣

－平成30年4月1日(現在)－ ※敬称略・順不同

会長	浦野	光人	[元・株式会社ニチレイ 会長]
副会長	上田	達郎	[トヨタ自動車株式会社 専務役員]
副会長	辻井	昭雄	[近鉄グループホールディングス株式会社 相談役]
理事長	平井	充則	[一般社団法人日本経営協会]
理事	牛尾	文昭	[東芝ビジネス&ライフサービス株式会社 代表取締役]
理事	小路	明善	[アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO]
理事	佐久間	総一郎	[新日鐵住金株式会社 取締役]
理事	長峯	豊之	[ANAホールディングス株式会社 代表取締役 副社長執行役員]
理事	牧原	晋	[日本電気株式会社 シニアオフィサー]
理事	松田	弘一	[株式会社大丸松坂屋百貨店 取締役 兼 常務執行役員]
理事	吉田	久仁彦	[株式会社東レ経営研究所 代表取締役社長]
理事	米山	淳二	[TDK株式会社 常勤監査役]

「改善・提案研究会」のご案内

一般社団法人日本経営協会は、昭和33年に創立された日本提案活動研究会(その後、日本提案活動協会に名称変更)の事務局をお預かりし、長年にわたり改善・提案活動に関する諸活動のお手伝いをしてまいりました。日本提案活動協会は、独立した団体でしたが、平成12年度から本会が、その事業を受け継ぎ、名称も「改善・提案研究会」と改め、様々な事業を実施いたしております。

中部・関西本部の委員企業 ※敬称略・50音順

アイシン精機・愛知製鋼・オーエスジー・大塚製薬工場・小糸製作所・中部電力・デンソー・トヨタ自動車・ニデック・日本ガイシ・パナソニック・ホシザキ

洋上研修推進事務局

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10階

一般社団法人 日本経営協会内 TEL (052) 957-4172 ダイヤルイン

FAX (052) 952-7418

ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※ご不明な点はお気軽に上記へご照会下さい。